

アーサー王 ワークショップ
King Arthur: Workshop

テニスン「シャロットの女」を読んで、体感して、作ってみよう
Reading and Creating
Alfred Tennyson, "The Lady of Shalott"

***参加にあたっての注意**

- ・ 持参していただくもの：

テキスト： 岩波文庫 『対訳テニスン詩集』西前美巳編（「シャロット姫」）
筆記用具

・ 事前にテキストを読み、「テーマは何か」「印象的な場面はどこか」「なぜ印象的なのか」を考えておいてください。初日に絵で表現していただきます。

- ・ 2日目は動きやすい服装でご参加ください。

*** 場所：** 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎 2階 大会議室

*** 連絡先：** 慶應義塾大学 教養研究センター 045 - 566-1151
経済学部 不破有理 yuri-fuwa2005@a8.keio.jp

【プログラム予定】

9月6日（月） “*The Lady of Shalott*” 解釈編

10：00 受付

10：15 朗読 津森優子さん(OG)

テーマについて考え、グループで話し合う。

1 まず朗読してみよう

2 ブレーンストーミング

印象的な場面はどこか

テーマは何か

一場面を絵に描いてみよう（簡単な画材は準備します）

11：30 - 12：30 発表と質疑（絵の説明をしてみよう）

12：30 - 13：30 昼食・休憩（各自おとりください）

13：30 - 14：45 作品を読む

担当：アンドリュー・リンチ教授

日本語による解説あり

14 : 45 - 15 : 00 休憩

15 : 00 - 16 : 00 絵画を読む

担当：アンドリュー・リンチ教授

日本語による解説あり

Homework: 宿題の課題説明・テンプレート配布 担当：小関章ラファエル氏

- 1 登場人物（登場物）を抜き出してみよう
- 2 時の設定を読む
- 3 場面の設定を読む
- 4 自然の表情を読む

9月7日（火） “*The Lady of Shalott*” 分析編

* Theatre Gameがありますので、動きやすい服装でご参加ください。

（女性はズボン着用）

10 : 30 - 12 : 00 物語分析に併せて課題のフィードバック

担当：小関章ラファエル氏

12 : 00 - 12 : 15 休憩

12 : 15 - 13 : 00 物語分析・発展

担当：小関章ラファエル氏

13 : 00 - 14 : 00 昼食・休憩（各自おとりください）

14 : 00 - 15 : 00 Theatre Game 身体と心を動かそう

担当：瀬戸口郁氏

15 : 00 - 15 : 15 休憩

15 : 15 - 16 : 30 Theatre Game 創作のためのウォーミングアップ

担当：瀬戸口郁氏

Homework: 宿題の課題と説明 担当：瀬戸口郁氏

9月8日 “*The Lady of Shalott*” 創作編

10:30 - 12:15 宿題の課題：発表 コメント
担当：瀬戸口郁氏

12:15 - 13:15 昼食・休憩 (各自おとりください)

13:15 創作グループ分け

13:30 - 17:00 創作準備・練習・発表

17:00 - 振り返りの会